

さかると右手の薄の原にゑ  
んをしましてしまひましたら  
書いてみた  
乙女　ころよ  
あかまつの

天氣豫報  
小名賢獨候所撰  
今曉 南東の風晴  
たゞ曇り驟雨  
明日 同じ

たゞ曇り驟雨  
明日 同じ

彼は、ちしろのカーテ  
をまくつて、暗い中へ呼

惣介は、うまく言ひ通れ  
たつもりであつた。

たつた揚  
やきとり

高柳

醫院

平産業養狸組合事務所  
乾產業會社畜産部  
國策アノゴウ鬼採毛協會

や、具職な人間や、まづ目を据ゑに  
 結めてゐると、いまや  
 程抑にふさはち安んじてゐるかに  
 日本の町へ出ると、すぐど  
 批紙が首に絡む。ど  
 この賭場の取締に、いま  
 どの賭場の取締に、いま

一番やううか兄さん、俺  
 やあ、あッしはもう、  
 國民精神  
 日本國  
 内閣情報部  
 寫眞

△つけていただく

△つけておくだけで洗へる

**美マルミ石鹼**  
末粉

産婦人科 醫學士小松千秋  
平市田町  
入院隨意  
安齊醫院

産婦人科 醫學士小松千秋  
平市田町  
入院隨意  
**安齊醫院**

100

